

令和3年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター
 TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225
<http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

第8号 令和3年9月2日発行



1. 気象経過

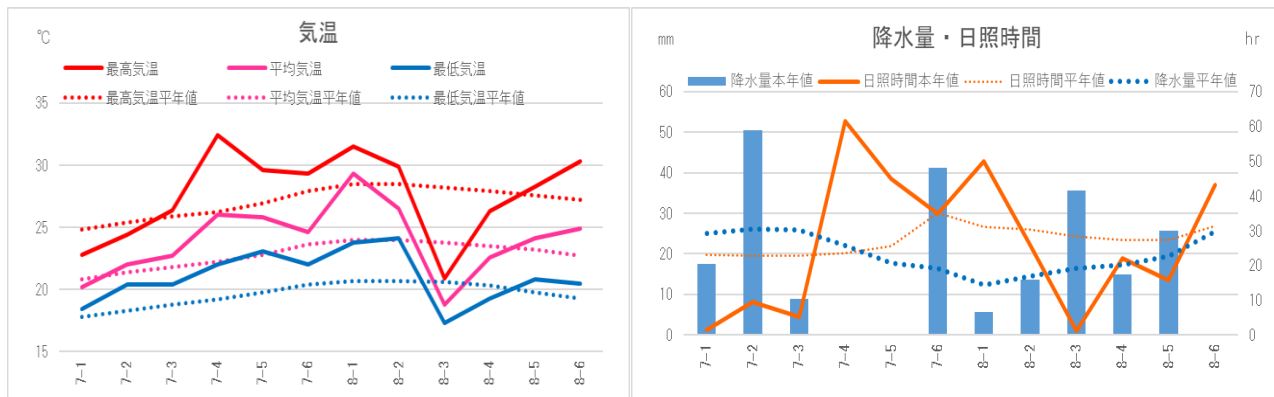


図1 7月から8月の半月別気象経過（鹿島台アメダス）

2. 出穂の状況

表1 管内の出穂状況

	出穂始期	出穂期	穂揃期
本年	7月24日	7月31日	8月8日
前年差	8日早い	5日早い	6日早い
平年差	6日早い	2日早い	3日早い

※出穂始期・出穂期・穂揃期は、出穂期(全茎の50%以上が出穂)に達したほ場の面積が、それぞれ水稲作付見込み面積の5%・50%・95%以上となった日。

7月第4半旬～8月第2半旬は気温が高く、日照時間も多く推移したため、出穂期は前年及び平年より早くなりました。

8月第3半旬に大きく気温が低下したこと等により、この時期に出穂、開花期となったほ場では登熟不良などの影響が出ています。

3. 出穂後25日調査結果

表2 出穂後25日調査

調査地点	品種	区分	田植日	栽植密度(株/㎡)	出穂期	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	一穂粒数(粒/本)	粒数(百粒/㎡)	止葉葉色(SPAD値)	
移植	涌谷(小塚)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	18.6	7/29	83.0	19.9	446	72.2	322	35.6
		県前年比・差	-	-	8日早い	100%	111%	97%	105%	102%	123%	
		本年値	5月8日	16.1	7/28	87.0	18.7	464	68.3	317	29.1	
	田尻(桜田高野)	ひとめぼれ	前年比・差	1日早い	99%	9日早い	107%	101%	113%	94%	106%	95%
		4ヶ年平均比・差	4日早い	99%	8日早い	100%	106%	86%	91%	93%		
		本年値	5月11日	14.2	7/30	85.0	18.4	398	73.0	290	27.5	
	鹿島台(木間塚)	ササニシキ	前年比・差	前年と同じ	91%	8日早い	102%	108%	78%	95%	75%	113%
		平年比・差	4日早い	91%	4日早い	103%	106%	79%	100%	79%	103%	
		本年値	5月21日	16.4	8/4	90.8	18.9	389	76.3	297	35.7	
	鹿島台(木間塚)	だて正夢	前年比・差	2日早い	87%	7日早い	97%	98%	97%	78%	76%	93%
		4ヶ年平均比・差	8日遅い	82%	3日早い	100%	99%	93%	88%	83%	99%	
		本年値	5月4日	16.5	8/2	87.2	20.6	456	73.8	336	32.9	
南郷(和多田沼)	金のいぶき	前年比・差	1日遅い	101%	7日早い	101%	95%	117%	87%	101%	90%	
	本年値	5月6日	16.7	8/6	79.6	19.2	506	76.6	316	35.7		
直播	小牛田(荻塚)	ゆみあずさ(湛水点播(鉄))	本年値	5月6日	16.7	8/6	79.6	19.2	506	76.6	316	35.7

※平年値は過去5年間の平均値。過去平均は5年未満の平均値。

表3 出穂後25日の沈下粒数調査（古川農試調査）

品種名	田植日	出穂期	沈下粒数割合(%)	
			本年値	平年比
ひとめぼれ	5月1日	7月29日	84.9	100
	5月10日	8月1日	72.3	82
	5月20日	8月4日	87.7	104
ササニシキ	5月10日	7月31日	71.0	88
	5月20日	8月3日	82.3	109

注 平均穂数を使用した4株の平均値

沈下粒数歩合は平年並～やや低くなっていますが、出穂後の低温少照により開花・受精が遅れたと思われる籾の登熟はこれから進むものとみられます。

ただし、つや姫や直播等、出穂の遅い稲では褐変やいもち病等が散見されています。

4. 積算気温からみた刈取適期

表4 品種別刈取適期の目安

刈取適期の目安

品種	目安となる積算気温	出穂期							
		7/26	7/28	7/30	8/1	8/3	8/5	8/7	8/10
ひとめぼれ まなむすめ	940°C(早限)	9/3	9/6	9/8	9/11	9/13	9/16	9/19	9/23
	1,000°C	9/7	9/9	9/11	9/14	9/16	9/19	9/22	9/26
	1,100°C(晩限)	9/10	9/13	9/15	9/18	9/20	9/23	9/26	10/1
ササニシキ	930°C(早限)	9/3	9/6	9/8	9/10	9/13	9/16	9/18	9/22
	1,000°C	9/7	9/9	9/11	9/14	9/16	9/19	9/22	9/26
	1,150°C(晩限)	9/13	9/13	9/18	9/20	9/23	9/26	9/29	10/4
つや姫	1,000°C(早限)	-	-	-	-	9/16	9/19	9/22	9/26
	1,100°C	-	-	-	-	9/21	9/24	9/27	10/2
	1,200°C(晩限)	-	-	-	-	9/26	9/29	10/2	10/7
だて正夢	1,020°C(早限)	9/7	9/10	9/12	9/15	9/17	9/20	9/23	9/27
	1,060°C(晩限)	9/8	9/11	9/13	9/16	9/18	9/21	9/24	9/29
金のいぶき	1,050°C(早限)	9/9	9/11	9/14	9/16	9/19	9/22	9/25	9/28
	1,100°C	9/11	9/14	9/16	9/19	9/21	9/24	9/27	10/1
	1,150°C(晩限)	9/13	9/15	9/18	9/20	9/23	9/26	9/29	10/3

※鹿島台アメダスの平均気温(8月30日までは本年の実測値。8月31日以降は準平年値を使用。)の積算から予測。

5. 今後の管理

(1) 適期収穫

☆コンバイン収穫作業では、収穫時の籾水分が高すぎると、籾や玄米に損傷を与え、胴割粒が増加し、品質低下の原因となります。

籾水分 25%以下を目安に収穫しましょう。

☆**籾の90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から1/3程度黄変したときが刈取適期**なので、葉色にまどわされないよう穂をよく観察しましょう。

＜籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定＞

ひとめぼれでは、平均的穂数株(枝梗数 8)の中位二次枝梗籾の籾色

を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます(図2参照)。

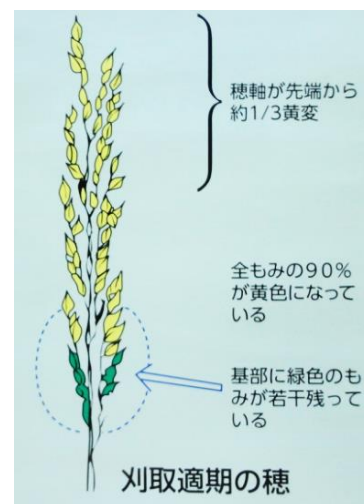
◆成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始。

◆成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ(90%)黄化。(7日以内で刈り取り早限)

◆成熟段階Ⅲ：第1位籾のほとんど(95%)黄化し、第2・3位籾が黄化開始(刈り取り早限)

◆成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2・3位籾の30%が黄化(積算温度1000°C程度)

◆成熟段階Ⅴ：第2・3位籾が50%以上黄化(刈り取り晩限)



刈取適期

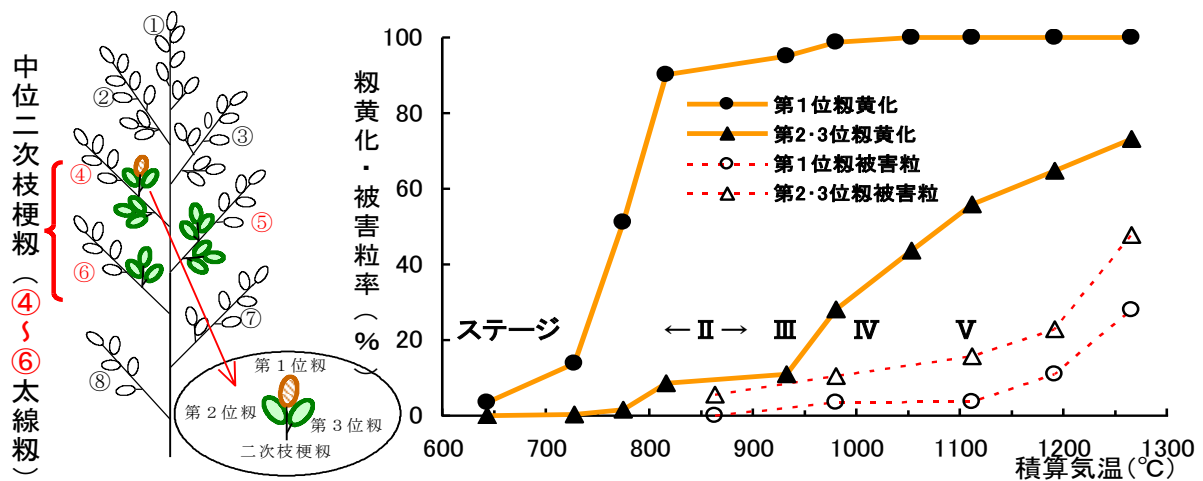


図4 積算温度と穂の中位二次枝梗粒黄化率の推移

図2 積算温度と穂の中位二次枝梗粒黄化率の推移

- ☆倒伏した稲や水口など、成熟期の遅れた稲は籾水分が高いので、収穫時期や籾袋を別にして他の正常な籾に混ぜないで乾燥しましょう。
- ☆刈り遅れは胴割れ粒，穂発芽，茶米などの被害粒の発生により玄米品質を低下させます。良食味米を確保するには、**刈取り適期内にあっても、できるだけ早く刈取る**ことが望ましいです。
- ☆**クサネムやツユクサ**は、脱穀時に種子が混入すると、揺動式比重選や粒径選でも取り除きにくいので、**収穫作業前に必ず抜き取り**ましょう。

(2) 乾燥・調製

- ☆コンバイン収穫した生籾 を放置すると発熱して変質米の原因となるため、速やかに乾燥機に張り込み送風循環しましょう。
- ☆倒伏した稲や未熟粒の多い稲などは高水分籾の混入が多いため、過乾燥となりやすく、胴割米の発生・碎粒の増加・光沢の低下など品質低下を招きます。**高水分籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥**（籾水分が20%以下になるまで乾燥した後、乾燥を一時停止し、籾の水分むらが少なくなってから再度仕上げ乾燥を行う）を行い、水分むらや胴割米の発生などを抑えましょう。
- ☆正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定することで過乾燥を防止しましょう。**仕上がり玄米水分は14.5%~15.0%**が目標です。
- ☆**籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから**行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ☆異品種の混入を未然に防ぐため、**品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底**しましょう。

慣れた作業でも、慌てず、焦らず、農作業事故防止に努めましょう！